

# 総合指数 4年連続の下落が止まる

## ～平成25年福岡市消費者物価指数～

今月号の特集は、総務省統計局が公表している消費者物価指数について、福岡市の平成25年の結果を紹介します。

消費者物価指数とは、ある時点(基準年)に家計で購入した様々な商品(財やサービス)と同じものを、別の年に買いそろえるのに必要なお金がいくらになるかを指数で表したものです。

基準は5年ごとに改定され、現在は平成22年を基準(指数=100)としています。

### 1. 概況

福岡市の平成25年平均の消費者物価指数は、総合は99.6で前年比増減なしとなり、全国の総合は100.0で前年比0.3%の上昇となりました。福岡市の総合指数は、4年連続で続いていた下落が止まりました。

「食料」「住居」等の10大費目別を見ると、指数が最も高いのは「光熱・水道」の108.7で、次いで「諸雑費」の104.8となっています。指数が最も低いのは「家具・家事用品」の88.9で、次に「教養娯楽」の94.3となっています。(表1、図1)

### 2. 中分類別指数の動き

- ①食料 前年と比べ、「外食」が1.3%上昇したものの「野菜・海藻」が3.3%下落したため、全体で0.6%の下落となりました。
- ②住居 ウェイトの大きい「家賃」が1.8%下落し、全体で1.8%下落となっています。
- ③光熱・水道 「電気代」が6.4%上昇、「ガス代」も2.3%上昇し全体で3.6%の上昇となっています。
- ④家具・家事用品 「家庭用耐久財」(電気冷蔵庫, ルームエアコン等)が0.9%

図1 消費者物価指数(総合)の推移

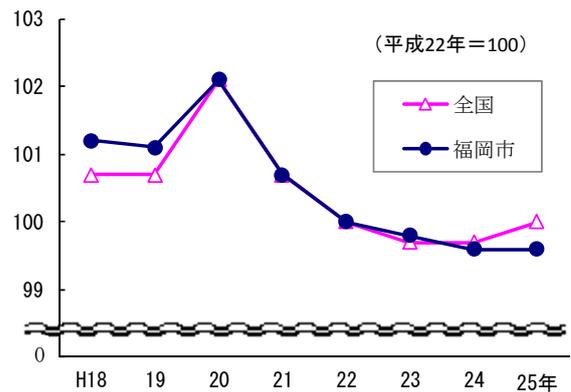


表1 消費者物価指数(10大費目)の推移

年	総合	生鮮食品を除く総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
平成21年	100.7	101.0	100.1	100.8	101.3	104.2	100.0	100.3	99.2	110.2	101.5	98.4
22年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
23年	99.8	99.8	99.6	101.1	102.0	90.8	97.4	99.2	101.4	98.5	96.7	103.5
24年	99.6	99.8	99.4	100.6	104.9	89.2	97.8	97.5	101.8	99.0	95.7	103.6
25年	99.6	99.9	98.8	98.8	108.7	88.9	98.7	97.3	103.3	99.4	94.3	104.8
〃(全国)	100.0	100.1	99.6	99.1	112.3	89.7	100.1	98.0	102.9	98.8	93.6	104.8
前年比(%)												
平成21年	△ 1.4	△ 1.2	△ 0.5	△ 0.6	△ 1.8	△ 2.9	△ 2.4	0.6	△ 3.7	0.4	△ 2.1	△ 0.6
22年	△ 0.7	△ 1.0	△ 0.1	△ 0.8	△ 1.3	△ 4.2	0.0	△ 0.3	0.8	△ 10.2	△ 1.5	1.6
23年	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.4	1.1	2.0	△ 9.2	△ 2.6	△ 0.8	1.4	△ 1.5	△ 3.3	3.5
24年	△ 0.2	0.0	△ 0.2	△ 0.5	2.9	△ 1.6	0.4	△ 1.7	0.4	0.5	△ 1.0	0.1
25年	0.0	0.1	△ 0.6	△ 1.8	3.8	△ 0.3	0.9	△ 0.2	1.5	0.4	△ 1.4	1.2
〃(全国)	0.3	0.4	△ 0.1	△ 0.4	5.0	△ 2.0	0.4	△ 0.5	1.4	0.6	△ 0.9	1.3

注) 年平均

下落し、全体で0.3%下落となりました。

⑤被服及び履物 ウエイトの大きい「衣料」が2.4%上昇したため、全体は0.9%上昇となりました。

⑥保健医療 「保健医療サービス」（診療代等）は増減なしですが、「医薬品・健康保持用摂取品」（感冒薬、ドリンク剤、サプリメント等）が1.0%下落し、全体で0.2%の下落となっています。

⑦交通・通信 「自動車関係費」が2.5%上昇し、「通信」（携帯電話通信料等）も0.9%上昇したため、全体も1.5%上昇となりました。

⑧教育 ウエイトが大きい「授業料等」が0.3%上昇し、全体で0.4%上昇となっています。

⑨教養娯楽 「教養娯楽サービス（宿泊

料・月謝類等）」が1.5%下落、「教養娯楽用耐久財（テレビ・パソコン等）」が8.7%下落しており、全体も1.5%下落となっています。

⑩諸雑費 「他の諸雑費」（傷害保険料等）が1.3%上昇、「身の回り用品」も4.7%上昇したため、全体で1.2%の上昇となりました。（表2）

### 3. 年間の動き

消費者物価指数の年間の動きを見ると、総合指数は9月の100.5が最も高く、2月と3月の99.1が最も低くなっています。

10大費目別では、「食料」は1月から3月にかけて下落した後、12月の100.4まで緩やかに上昇しました。

「光熱・水道」は5月に前月の105.4

表2 中分類別指数

(平成22年=100)

分類	ウエイト	平成24年	25年	前年比(%)	分類	ウエイト	平成24年	25年	前年比(%)
総	10 000	99.6	99.6	0.0	被服関連サービス	25	99.4	93.8	△5.6
食	2 479	99.4	98.8	△0.6	保健医療	466	97.5	97.3	△0.2
穀類	211	103.4	102.7	△0.7	医薬品・健康保持用摂取品	140	93.9	93.0	△1.0
魚介類	205	96.7	95.8	△0.9	保健医療用品・器具	91	96.5	96.7	0.2
肉類	218	96.8	95.4	△1.4	保健医療サービス	235	100.0	100.0	0.0
乳卵類	101	99.9	102.7	2.8	交通・通信	1 404	101.8	103.3	1.5
野菜・海藻類	267	95.8	92.6	△3.3	交通	262	101.4	101.3	△0.1
果物	80	96.6	94.6	△2.1	自動車等関係費	753	102.9	105.5	2.5
油脂・調味料	107	98.5	98.0	△0.5	通信	388	99.7	100.6	0.9
菓子類	216	99.3	98.7	△0.6	教育	367	99.0	99.4	0.4
調理食品	242	103.0	103.4	0.4	授業料等	260	98.5	98.8	0.3
飲料	127	99.2	96.4	△2.8	教科書・学習参考教材	6	102.1	105.9	3.7
酒類	134	97.5	95.8	△1.7	補習教育	100	100.3	100.6	0.3
外食	571	100.9	102.2	1.3	教養娯楽	1 053	95.7	94.3	△1.5
住居	2 042	100.6	98.8	△1.8	教養娯楽用耐久財	117	66.4	60.6	△8.7
家賃	1 955	100.6	98.8	△1.8	教養娯楽用品	193	97.8	98.5	0.7
設備修繕・維持	87	98.9	97.9	△1.0	書籍・他の印刷物	129	100.8	101.0	0.2
光熱・水道	666	104.9	108.7	3.6	教養娯楽サービス	613	99.6	98.1	△1.5
電気代	277	105.7	112.5	6.4	諸雑費	687	103.6	104.8	1.2
ガス代	212	106.4	108.9	2.3	理美容サービス	125	100.2	100.7	0.5
他の光熱	14	121.5	131.2	8.0	理美容用品	144	98.5	98.8	0.3
上下水道料	163	100.0	100.0	0.0	身の回り用品	90	98.2	102.8	4.7
家具・家事用品	394	89.2	88.9	△0.3	たばこ	64	126.2	126.2	0.0
家庭用耐久財	170	79.5	78.8	△0.9	他の諸雑費	265	104.3	105.7	1.3
室内装備品	29	93.9	87.3	△7.0	生鮮食品	374	94.5	91.8	△2.9
寝具類	24	94.6	94.2	△0.4	生鮮食品を除く総合	9 626	99.8	99.9	0.1
家事雑貨	74	97.9	99.8	1.9	持家の帰属家賃を除く総合	8 767	99.3	99.6	0.3
家事用消耗品	80	96.5	97.0	0.5	持家の帰属家賃及び生鮮食品を除く総合	8 392	99.5	99.9	0.4
家事サービス	16	99.7	99.5	△0.2	エンターテインメント	686	108.0	113.3	4.9
被服及び履物	444	97.8	98.7	0.9	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	6 970	98.9	98.4	△0.5
衣料	202	100.0	102.4	2.4	教育関係費	427	99.6	100.1	0.5
シャツ・セーター・下着類	124	97.0	99.9	3.0	教養娯楽関係費	1 180	96.4	95.1	△1.3
履物類	59	94.4	91.4	△3.2	情報通信関係費	497	99.2	97.6	△1.6
他の被服類	33	92.1	88.2	△4.2					

から 109.0 へ急上昇し、9月にピークを迎えた後は12月まで緩やかに下落しました。

「被服及び履物」は、冬(2月)と夏(8月)に谷となる傾向があります。(表3, 図2)

図2 消費者物価指数(10大費目)の月別推移

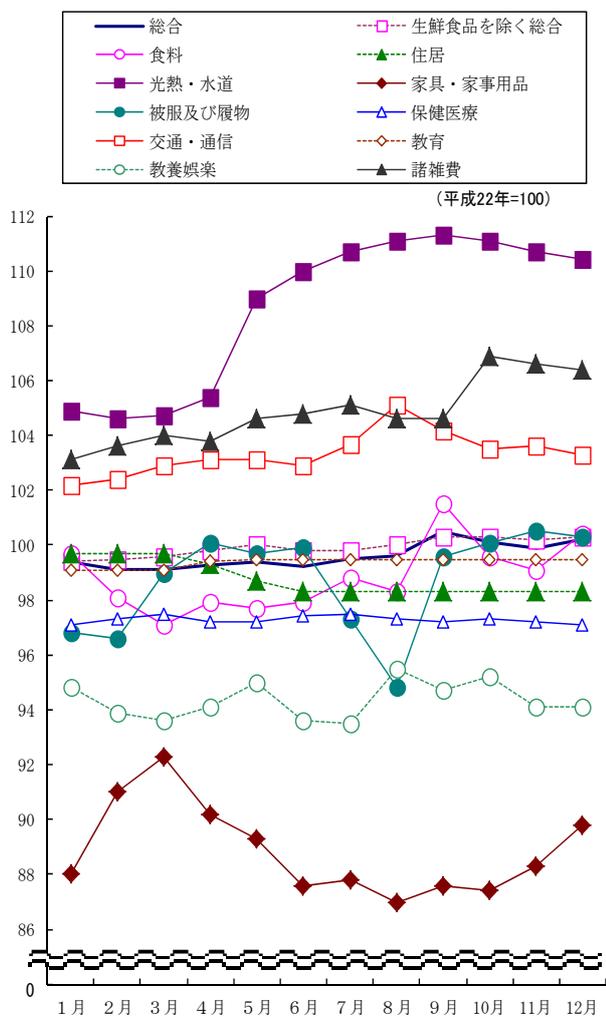


表3 消費者物価指数(10大費目)の月別推移

平成25年		(平成22年=100)											
分類		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総合	合	99.4	99.1	99.1	99.3	99.4	99.2	99.5	99.6	100.5	100.1	99.9	100.2
生鮮食品を除く総合		99.4	99.5	99.6	99.8	100.0	99.8	99.8	100.0	100.3	100.3	100.2	100.3
食料	料	99.7	98.1	97.1	97.9	97.7	97.9	98.8	98.3	101.5	99.6	99.1	100.4
住居	居	99.7	99.7	99.7	99.3	98.7	98.3	98.3	98.3	98.3	98.3	98.3	98.3
光熱・水道		104.9	104.6	104.7	105.4	109.0	110.0	110.7	111.1	111.3	111.1	110.7	110.4
家具・家事用品		88.0	91.0	92.3	90.2	89.3	87.6	87.8	87.0	87.6	87.4	88.3	89.8
被服及び履物		96.8	96.6	99.0	100.1	99.7	99.9	97.3	94.8	99.6	100.1	100.5	100.3
保健医療		97.1	97.3	97.5	97.2	97.2	97.4	97.5	97.3	97.2	97.3	97.2	97.1
交通・通信		102.2	102.4	102.9	103.1	103.1	102.9	103.7	105.1	104.2	103.5	103.6	103.3
教育	育	99.1	99.1	99.1	99.4	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5
教養娯楽		94.8	93.9	93.6	94.1	95.0	93.6	93.5	95.5	94.7	95.2	94.1	94.1
諸雑費	費	103.1	103.6	104.0	103.8	104.6	104.8	105.1	104.6	104.6	106.9	106.6	106.4

#### 4. 大都市の状況

20大都市(数値が公表されていない相模原市を除く政令指定都市及び東京都区部)の消費者物価指数を見ると、総合指数が最も高いのは札幌市の101.0で、最も低いのは東京都区部と熊本市の99.1となっており、福岡市は99.6で4番目に低い数値となっています。

また、前年比では、札幌市が0.9%の上昇と最も高く、浜松市の0.2%下落が最も低く、福岡市は増減なしで2番目に低い数値となりました。(表4)

#### 5. 大都市の消費者物価地域差指数

消費者物価地域差指数とは、都道府県庁所在市(東京都については東京都区部)及び政令指定都市(川崎市、浜松市、堺市及び北九州市)の51市の消費者物価について、51市の平均を基準(=100)とした指数で表したものです。

「総合(持家の帰属家賃を除く)」「食料」及び「家賃を除く総合」の3系列が作成されています。

平成25年平均の消費者物価地域差指数について20大都市(数値が公表されていない相模原市を除く政令指定都市及び東京都区部)別に見ていきます。

「総合(持家の帰属家賃を除く)」は、横浜市の106.0が最も高く、次いで東京都区部の105.9が続いています。最も低いのは北九州市の96.6で、次に福岡市の97.5

が続いています。

「食料」は、横浜市が105.9で最も高く、最も低いのは福岡市の94.7となっています。また、「家賃を除く総合」も横浜市が105.3と最も高く、最も低いのは北九州市の97.6で、次に福岡市の98.1となっています。(表5)

\* \* \* \* \*

消費者物価指数の詳細は、総務省統計局のホームページでご覧になれます。

<http://www.stat.go.jp/>

表5 大都市の消費者物価地域差指数

平成25年 (51市平均=100)

都市	総合 (持家の帰属 家賃を除く)	食料	家賃を 除く総合
51市平均	100.0	100.0	100.0
札幌市	100.2	97.9	101.1
仙台市	98.3	97.6	98.9
さいたま市	103.3	102.5	103.0
千葉市	99.1	101.0	99.5
東京都区部	105.9	104.9	104.2
川崎市	105.4	104.4	104.0
横浜市	106.0	105.9	105.3
新潟市	99.1	98.9	99.7
静岡市	100.0	99.2	100.4
浜松市	98.4	97.2	99.0
名古屋	99.1	98.4	99.4
京都市	101.2	100.7	101.7
大阪市	100.6	100.6	100.6
堺市	100.6	101.3	101.1
神戸市	102.2	102.4	102.5
岡山市	100.3	100.3	101.0
広島市	99.8	101.3	100.4
北九州市	96.6	97.4	97.6
福岡市	97.5	94.7	98.1
熊本市	100.0	99.8	100.9

表4 大都市の消費者物価指数(10大費目)

平成25年

(平成22年=100)

都市	総合	生鮮食品 を除く 総合	食料	住居	光熱・ 水道	家具・ 家事 用品	被服及 び履物	保健 医療	交通・ 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費
指 数												
全 国	100.0	100.1	99.6	99.1	112.3	89.7	100.1	98.0	102.9	98.8	93.6	104.8
札幌市	101.0	100.8	101.8	98.5	111.9	92.5	98.2	98.5	102.5	99.1	95.8	107.9
仙台市	99.5	99.5	99.1	99.1	111.0	84.3	99.7	97.4	102.6	97.9	93.2	106.2
さいたま市	100.8	100.9	100.1	99.4	115.5	90.3	106.0	98.5	102.5	98.0	96.4	103.0
千葉市	99.6	99.7	98.3	97.7	115.6	90.5	99.5	98.6	102.8	101.6	95.0	104.3
東京都区部	99.1	99.2	98.2	98.3	115.4	86.7	99.8	98.5	100.9	100.5	93.3	103.2
川崎市	99.7	99.8	99.2	98.5	115.5	86.3	102.9	96.7	101.3	100.2	94.5	104.3
横浜市	99.9	99.9	99.2	98.4	115.4	88.0	103.7	98.2	100.9	99.6	95.3	104.4
新潟市	99.9	100.0	100.2	98.5	109.7	95.9	102.5	96.3	103.2	97.8	89.9	104.2
静岡市	100.4	100.4	101.3	100.1	108.3	95.2	101.0	97.9	102.3	100.8	91.6	104.3
浜松市	99.9	100.0	100.2	97.0	110.6	92.1	100.2	98.8	103.6	98.4	92.8	104.8
名古屋	99.9	99.8	100.4	99.1	109.7	92.2	97.4	98.6	102.0	99.7	93.6	104.7
京都市	100.6	100.6	100.1	100.2	112.4	90.5	102.3	98.5	102.1	99.1	95.4	104.2
大阪市	99.8	99.9	99.5	99.7	112.4	86.3	99.2	97.6	101.0	98.4	93.1	105.2
堺市	99.6	99.7	99.2	100.3	110.6	80.4	99.9	98.3	102.6	96.4	93.4	105.5
神戸市	99.9	100.0	97.7	101.6	111.7	96.4	100.5	97.4	100.0	100.8	94.2	103.7
岡山市	100.1	100.1	100.9	100.2	107.4	91.9	100.5	98.2	102.8	98.4	92.3	102.8
広島市	99.7	99.7	99.7	98.9	107.9	92.2	101.4	98.6	102.3	98.7	92.7	104.7
北九州市	99.9	100.0	99.0	99.2	109.5	91.6	102.0	98.2	103.7	97.6	93.1	104.1
福岡市	99.6	99.9	98.8	98.8	108.7	88.9	98.7	97.3	103.3	99.4	94.3	104.8
熊本市	99.1	99.1	97.5	99.5	108.6	84.9	97.4	99.4	102.6	98.8	93.5	104.7
前 年 比 (%)												
全 国	0.3	0.4	△0.1	△0.4	5.0	△2.0	0.4	△0.5	1.4	0.6	△0.9	1.3
札幌市	0.9	0.8	0.9	△0.1	4.5	0.7	△0.4	0.4	1.1	1.0	0.1	1.2
仙台市	0.7	0.7	0.5	0.2	4.1	△2.3	1.3	△0.1	1.3	0.1	0.0	1.9
さいたま市	0.5	0.6	0.4	△0.4	5.9	△1.2	△0.1	△0.3	1.2	0.4	△0.3	1.4
千葉市	0.4	0.4	△0.1	△0.7	6.3	△1.5	0.2	△0.4	1.4	0.7	△0.5	2.0
東京都区部	0.1	0.1	△0.4	△0.5	6.3	△2.2	△0.4	△0.6	0.4	0.2	△0.9	1.0
川崎市	0.2	0.3	△0.4	△0.6	6.2	△4.7	2.0	△1.8	0.8	1.2	△0.1	1.2
横浜市	0.3	0.3	△0.4	△0.7	6.2	△2.3	1.8	△0.9	0.7	1.0	△0.2	1.4
新潟市	0.1	0.2	△0.7	△0.5	3.8	△2.4	1.2	△1.1	1.8	△0.1	△1.6	1.2
静岡市	0.2	0.1	0.1	△0.5	2.5	△0.8	0.7	△0.5	1.0	0.7	△1.5	1.2
浜松市	△0.2	△0.2	△0.1	△2.1	3.0	△3.0	△0.8	△0.6	1.2	0.3	△1.0	1.5
名古屋	0.2	0.2	△0.3	△0.5	2.6	△1.4	1.3	0.2	1.2	0.5	△1.1	1.4
京都市	0.6	0.7	0.1	△0.3	6.5	△1.5	0.5	△0.1	1.0	0.3	△0.6	2.5
大阪市	0.3	0.4	△0.5	△0.1	6.5	△2.0	△1.1	△0.6	0.6	0.1	△1.0	1.6
堺市	0.4	0.4	0.1	△0.2	6.0	△3.0	△1.2	△0.3	1.3	0.1	△1.0	0.8
神戸市	0.1	0.2	△1.0	△0.2	6.1	△0.6	0.0	△0.9	1.2	0.6	△1.3	1.1
岡山市	0.2	0.2	0.2	△0.2	2.0	△2.9	0.2	△0.8	1.5	0.1	△1.2	0.7
広島市	0.0	△0.1	0.2	△0.3	2.2	△4.8	0.7	△0.3	1.2	0.3	△2.5	1.6
北九州市	0.3	0.3	△0.7	0.2	4.3	△2.3	1.6	△0.1	1.9	0.3	△1.6	0.7
福岡市	0.0	0.1	△0.6	△1.8	3.8	△0.3	0.9	△0.2	1.5	0.4	△1.4	1.2
熊本市	0.0	0.0	△1.4	△0.2	3.8	△2.2	△1.1	0.0	1.3	0.5	△0.7	1.4